

宮っこ未来ビジョン2.0 別冊
— 各ライフステージにおける人づくり 詳細 —

(詳細)各ライフステージにおける人づくり【乳幼児期】

ライフステージの目標(乳幼児期)

○ 自分づくりに関する目標

自己実現

- 「人」「モノ」に積極的にかかわり、いろいろな「ためし」をします。
- 進んで家事などを手伝い、最後までやり遂げます。
- ごっこ遊びや買い物の経験を通して、お金の役割を知ります。

技術・文化の伝承, 科学の理解

- ものづくり体験教室などで、試行錯誤しながら、ものづくりに取り組みます。

文化創造

- 地域の自然に触れたり、祭りなどの伝統行事に進んで参加したりするようにします。
- 外国の友達と仲良くします。

健康・体力の保持増進

- 好き嫌いなく、規則正しい食事をします。
- 友達と、外で元気に遊びます。



課題解決

- よく笑い、よく泣き、十分に自分の感情を表現します。
- 遊びながら、自然などの様々な不思議を学びます。
- 遊びを通して、様々な表現方法を身に付けます。
- 進んで本に親しむようにします。
- パソコンなどと仲良しになります。

思いやり・共生

- 遊びの中で、友達と触れ合い、けんかをしたり仲直りをしたりしながら、より良い友達関係をつくります。
- 元気なあいさつと正しい言葉遣いをします。
- 「やってよいこと」と「いけないこと」を区別し、我慢することを身に付けます。
- 自然の厳しさや素晴らしさ、生き物の生死にふれ、感動や命を大切する気持ちをもちます。

きまり遵守

- 「起床」「食事」「睡眠」などの基本的な生活習慣を身に付けます。
- 家庭や幼稚園・保育所のきまりを守ります。
- 交通規則などの社会のきまりを守ります。

(詳細)各ライフステージにおける人づくり【乳幼児期】

役割

○家庭

- ・子どもと保護者の心の通い合う愛情の中で、孤独や不安から子どもを守り、子どもが「自分が困ったら保護者が助けてくれる」などの安心感がもてる信頼関係を築くよう努めます。
- ・子どもの「やってみたい」という感情を可能な限り尊重し、できたことをしっかりと褒める。また、やってはいけないことは、きちんと理解をさせます。
- ・「起床」「着替え」「洗面」「食事」「入浴」「排泄」「睡眠」「あいさつ」などの基本的な生活習慣が身に付くようにさせます。

○幼稚園等

- ・遊びを通して、友だちに自己主張したり、相手を受け入れたりして仲良くできる力が身に付くように努めます。
- ・「学ぶ姿勢」や「他を思いやる姿勢」、「体力を向上しようとする姿勢」がバランスよく身に付くように努めます。
- ・基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、子育て情報を発信するなど、家庭の相談や地域活動のサポートに努めます。

○地域等

- ・家庭が安心して子育てできる地域の環境づくりに努めます。
- ・感動や命を大切に作る心を育てるために、自然や動植物と触れ合う場の設定に努めます。
- ・思いやりや人間関係形成の基礎となる力を育成するため、多くの子どもたちが一緒に遊ぶ場や切磋琢磨の場の提供に努めます。
- ・より良い親子関係を築くために、親と子が共に体験活動などができる機会や場の提供に努めます。

○企業等

- ・保護者が、家庭教育や地域活動へ積極的に取り組める職場環境(休暇制度など)を充実させます。
- ・様々な体験の場の提供など、幼稚園等の教育(保育)活動や家庭教育、地域活動への協力を行います。

○行政

- ・「子育てネットワークの整備」や「幼稚園等の教育(保育)支援」などに努めます。
- ・「子育て」や「教育」に関する支援ネットワークの整備の支援とコーディネーター育成に努めます。

課題

○保護者との基本的な信頼関係の形成

○基本的な生活習慣や我慢する力を身に付ける



(詳細)各ライフステージにおける人づくり【少年期】

ライフステージの目標(少年期)

○ 自分づくりに関する目標

自己実現

- 学校の社会体験活動や親の働く姿などにより、「自分はこうなりたい」という夢や希望を膨らませるとともに、働く意義を理解します。
- 様々な課題にくり返し挑戦し、自分の特徴や可能性について考えます。
- 自己の行いを振り返り、改善策を考えます。
- 労働の対価としてのお金の意義を理解し、カードなどの金銭に関する社会の仕組みを学びます。

技術・文化の伝承, 科学の理解

- 原理や仕組みを考え、創意工夫しながら、ものづくりに取り組みます。

文化創造

- 外国人との交流を通して、異文化への関心と理解をもつようにします。
- 進んで、郷土の歴史、伝統文化、芸術などの多様な文化に触れ、体験できるようにします。

健康・体力の保持増進

- ルールを守り、仲間との関係を深めながら、進んでスポーツに取り組みます。
- スポーツやレクリエーションなどに積極的に取り組み、体力向上に心がけます。
- 自己の健康などに配慮した食事をします。

課題解決

- 自分の考えをよく話し、相手の意見との違いに気づき、互いにより良い解決方法を発見します。
- 正しい日本語を身に付けるとともに、外国語の習得に心がけます。
- 情報モラルを守り、情報機器を使えるようにします。

思いやり・共生

- 動植物や乳幼児、高齢者との触れ合いなどを通して、命に限りがあることを自覚し、自己のより良い生き方を考えます。
- 友達など相手の立場を考えながら、責任をもって行動します。
- 家庭の手伝いや学校の奉仕活動などを通して、奉仕の気持ちを持ちます。
- 自然や社会の人々と触れ合いながら、自然の偉大さ、人の温かさを知り、自然や集団の一員としての自覚と責任を持ちます。
- 争いごとや差別について学び、その改善に向けた取組を身近なことから実践します。

きまり遵守

- 交通規則など、法令遵守の必要性を自覚し、進んで守るようにします。
- 学校や地域のルールを守り、他人に迷惑をかけないようにします。
- 社会の一員としての権利や義務を正しく理解します。

(詳細)各ライフステージにおける人づくり【少年期】

役割

○家庭

- ・子どもの意見や考えを尊重するよう努めます。
- ・家事の役割分担や家族行事の計画を担当させ、家族の一員である自覚と責任感の育成に努めます。
- ・子どもの主体性を尊重し、様々な集団活動への参加を促します。また、結果に対しては、適切に賞賛や励ましを行います。
- ・より良い社会生活をする上での基本的なルールを守る姿勢を身に付けさせます。

○小中学校

- ・子どもの最善の権利を守り、意見を表明する機会の確保に努めます。
- ・奉仕活動などの社会体験活動を通して、奉仕の精神や職業観、勤労観の育成に努めます。
- ・確かな学力や豊かな人間性、健康・体力などの「生きる力」の育成に努めます。
- ・社会や周囲の人々に配慮した判断力や自律心とルールを守る姿勢を身に付けさせます。
- ・乳幼児や高齢者との交流による生命尊重の気持ちをもたせる教育を充実させます。
- ・スポーツに積極的に取り組む姿勢と「食」に関する自己管理能力の育成に努めます。

○地域等

- ・子どもの意見や考えを尊重するよう努めます。
- ・地域活動の計画・実行・評価を子ども自らに行わせ、問題解決能力を養うとともに、自主性の育成に努めます。
- ・異年齢集団による活動などを通して、人間関係を形成する手法を身に付けるように努めます。
- ・地域活動を通して、社会生活上、必要とされる基本的なルールを守る姿勢を身に付けさせます。

○企業等

- ・子どもの豊かな心や職業観、勤労観、チャレンジ精神、創造力を身に付けさせるため、積極的に学校教育の社会参加体験などへの協力を努めます。
- ・保護者が、家庭教育や地域活動へ積極的に取り組める職場環境(休暇制度など)を充実させます。

○行政

- ・子どもの意見を表明する機会の確保に努めます。
- ・「子ども相談ネットワークの整備」や「学校教育支援」などに努めます。
- ・「子育て」や「教育」に関する支援ネットワークの整備の支援とコーディネーター育成に努めます。

課題

○よりよい人間関係を形成する力を身に付ける

○進んで学んだり、活動したりする意欲・我慢する力や粘り強く物事に取り組む姿勢を身に付ける



(詳細)各ライフステージにおける人づくり【青年期】

ライフステージの目標(青年期)

- 自分づくりに関する目標
- 次世代育成に関する目標

自己実現

- 自分が正しいと信じることを進んで表現・実践し、結果に対しては、改善策を考えます。
- 職業生活の充実のために、リカレント教育など、様々な教育制度を積極的に活用します。
- 職場や地域の大人との交流により、望ましい勤労観を身に付けます。
- 生活の中で、より良い金銭感覚を磨きます。

技術・文化の伝承, 科学の理解

- 多様な原理や仕組みを取り入れ、独創的なものづくりに取り組みます。

文化創造

- 様々な文化・芸術を学び、異文化交流を実践します。
- 高齢者との交流の中で、郷土の歴史、伝統文化、芸術など多様な文化を学び、それらを子どもたちに伝えます。

健康・体力の保持増進

- スポーツのルールを守り、仲間との関係を深めながら、スポーツに取り組めます。
- スポーツやレクリエーションに積極的に取り組み、体力向上に心がけます。
- 規則正しい生活と自己管理の姿勢を身に付けます。

課題解決

- 将来のイメージを設定し、「仕事をする」と「生きる」とを対比させながら、実現に向けた課題を見つけ出し、解決に向けて創造的に取り組みます。
- 国際交流に活用できる語学力や様々な表現力を身に付けます。
- 情報モラルを守り、様々な情報技術の習得に取り組みます。

思いやり・共生

- 差別と偏見のない地域づくりに取り組みます。○国を超えた人々との交流などにより、日本の素晴らしさや今後のあるべき姿を認識するとともに、「異なること」を受容し、共に生きようとする姿勢を身に付けます。
- 乳幼児や保護者、高齢者との交流を通して、生命誕生の素晴らしさと「老い」について考えます。
- 地域の「ニューリーダー」として、年下の子どもたちを対象とした活動などを企画立案し、責任をもって実践します。

きまり遵守

- 県や国など地域よりさらに大きな「社会」を考え、身近な「モラル」から実践します。
- 道路交通法や刑法などの法令を遵守します。
- 社会の一員としての義務を果たします。

(詳細)各ライフステージにおける人づくり【青年期】

役割

○家庭

- ・青年の意見や考えを尊重するよう努めます。
- ・青年の生活の自立をめざし、何事も自分で決め、実行し、結果に対して責任をもたせるよう努めます。
- ・青年の夢を膨らませるとともに、将来の生き方について共に考え、先輩社会人として、的確なアドバイスに努めます。

○高等学校等

- ・青年の最善の権利を守り、意見を表明する機会の確保に努めます。
- ・就職や進路変更などにも柔軟に対応できる高等教育の仕組みを通して、自己実現に向けた様々な知識や技能を提供します。
- ・社会的自立を目指し、何事も自分で決め、実行し、その結果に対して責任をもたせるよう努めます。

○地域等

- ・青年の意見や考えを尊重するよう努めます。
- ・地域よりさらに大きな社会活動を通して、差別や偏見について考えさせ、社会人として身に付けなくてはならない力の育成に努めます。
- ・奉仕活動や地域行事に企画段階から積極的にかかわらせ、世代を超えた交流を通して、責任感を身に付けさせることや社会的に認められる自分らしさを獲得させます。
- ・乳児や高齢者に対する奉仕活動などにより、生命尊重の精神をもたせる教育を充実させます。

○企業等

- ・保護者が家庭教育や学校教育、地域活動に常にかかわることができる職場環境づくりに努めます。
- ・青年の望ましい職業観や勤労観を身に付けさせるため、学校教育の社会参加体験や就業体験制度などへ、積極的に協力するように努めます。
- ・仕事を遂行する上で必要なマナーや技能などを身に付けられるよう、企業における研修の時間や場を十分に確保します。

○行政

- ・青年の意見を表明する機会の確保に努めます。
- ・「悩みなどに関する相談ネットワークの整備」や「学校教育支援」などに努めます。
- ・青少年支援ネットワークの整備の支援とコーディネーター育成に努めます。
- ・進路変更などに対応できる柔軟な教育の仕組みの構築に努めます。

課題

○目的意識が低下

○勤労観, 職業観を持つ

○人間関係を形成する力の育成



(詳細)各ライフステージにおける人づくり【成人期】

ライフステージの目標(成人期)

- 自分づくりに関する目標
- 次世代育成に関する目標

自己実現

- 自主的に様々な活動の企画立案や実践を行うとともに、その結果に対する責任をもちます。
- 職業生活の充実のために、積極的にリカレント教育などを活用します。
- 夢を追いながら、積極的に自己実現に取り組み、その姿を子どもに「そのまま」見せ、「夢をもつことの大切さ」を伝えます。

技術・文化の伝承, 科学の理解

- 新しい技術や科学の理解に努め、豊かな生活の創造に努めます。
- 職業や趣味で身に付けた様々な技術を子どもたちや青年に伝承し、新しいものを創り出す喜びを伝えます。

文化創造

- 身に付けた文化・芸術などにより、世界の人々との交流に取り組みます。
- 多様な文化活動に取り組み、社会に生かすようにします。
- 自己の生きがいとして、郷土の自然や歴史、伝統文化を次世代に伝えます。

健康・体力の保持増進

- スポーツやレクリエーションなどを通して、積極的に健康管理に努めます。
- 世代を超えたスポーツの指導や交流により、次世代の育成に取り組みます。
- 健康について考えた食事の仕方を伝えます。

課題解決

- 職業生活や趣味などにおける自己実現を目指し、積極的に自己の課題解決に取り組みます。
- 国を超えた様々な人々との交流を通して、豊かな表現力を身に付けます。
- 新しい情報技術の習得をします。
- 地域の子どもや青年に対し、自己の経験や知識、技能の伝達を通して、「学ぶ」ことの意義を教えます。

思いやり・共生

- 家族一人一人がもつ「らしさ」を尊重し、より良い家庭を築きます。
- 地域のリーダーとして、地域の人々との触れ合いを深め、望ましい地域づくりに取り組みます。
- 積極的に奉仕活動を企画立案し、責任をもって実践します。
- 礼儀を重んじ、差別と偏見のない地域や社会づくりに取り組みます。
- 子育て情報の共有化に努めます。
- 乳幼児や高齢者への奉仕活動などを通して、子どもたちに「命の大切さ」や「命には限りがあること」を伝え、自己の生き方を考えさせます。

きまり遵守

- 社会的な責任を自覚し、より良い地域や社会づくりに取り組みます。
- 家庭や地域の子どもたちに、法令遵守の大切さを教えます。

(詳細)各ライフステージにおける人づくり【成人期】

役割

○家庭

- ・配偶者や祖父母などの人間性を受け入れ、家族とのより良い人間関係の形成に努めます。
- ・家庭における子育ての重要性を認識するとともに、子どもとの温かな人間関係のもと、愛情豊かな子育てに努めます。

○幼稚園等

- ・保護者に対して、子育て情報を提供するとともに、相談機能の充実に努めます。
- ・幼稚園教諭や保育士による施設を利用した子育て支援の充実に努めます。
- ・社会人の自己実現や職業能力開発を支援するため、知識や技術を習得できるリカレント教育などの充実に努めます。

○地域等

- ・地域活動や生涯学習の機会をつくり、子どもとのより良い関係の構築や自己実現に向けたサポートをします。
- ・成人のもつ知恵や技術などを生かした「ものづくり体験教室」などの場の設定に努めます。

○企業等

- ・意欲のある多様な人材を積極的に雇用し、働く場を提供します。
- ・家庭教育や学校教育、地域活動に、保護者が積極的にかかわれる職場環境づくりに努めます。
- ・従事者の自己実現のため、研修などへ積極的に参加ができるような職場環境(休暇制度など)づくりに努めます。
- ・お年寄りや体に障害がある方と十分な家族関係を築けるような職場環境づくりに努めます。

○行政

- ・「子育て相談ネットワークの整備」や「幼稚園等、学校教育の支援」などに努めます。
- ・家族とのより良い人間関係を形成するため、相談事業や研修事業などの充実に努めます。

課題

○次世代を育成する意識を持つ

○「新しいものを作り出す創造性」や「情報技術・語学力などの社会変化に伴い必要とされる力」など、自己実現のための資質や能力を身に付ける





(詳細)各ライフステージにおける人づくり【高齢期】

ライフステージの目標(高齢期)

- 自分づくりに関する目標
- 次世代育成に関する目標

自己実現

- 様々な活動の企画立案や実践, 結果に対して責任をもって助言します。
- 過去の経験や知識を基に生涯学習に取り組み, 新しい自己の発見に努めます。
- 自己の生きざまについて, 地域の子どもたちや次世代と語り, 子どもたちの生き方を考えさせるように努めます。

技術・文化の伝承, 科学の理解

- 新しい技術や科学に興味をもち, 自分の生活をより豊かにするために活用します。
- 職業生活や趣味で身に付けた様々な技術を子どもたちや次世代に伝承し, 新しいものを創り出す喜びを伝えます。

文化創造

- 磨かれた芸や受け継いだ郷土芸能などにより, 世界の人々との交流に取り組みます。
- 長年の文化活動で培われた経験と知識を社会に生かすようにします。
- 自己の生きがいとして, 郷土の自然や歴史, 伝統文化を次世代に伝えます。

健康・体力の保持増進

- 体力保持のために, 自分に合ったスポーツやレクリエーションに取り組みます。
- 健康の維持管理に努めます。
- 健康について考えた食事の仕方を伝えます。

課題解決

- 職業生活や趣味における自己実現を目指し, 積極的に自己の課題解決に取り組みます。
- 新しい情報技術の習得など, 学び続ける姿勢を持ちます。
- 社会の「ご意見番」として, 長年培った経験や知恵, 技術を活用し, ボランティア活動などを通して次世代の育成に取り組みます。

思いやり・共生

- 社会の人々との触れ合いを深め, 互いに思いやる社会生活をします。
- 積極的に奉仕活動を企画立案し, 改善点について助言します。
- より良い社会づくりのリーダーとして, 若い世代を見守り, 長年培った知恵, 経験, 技術を活用し, 次世代を育成します。
- 生命尊重の精神や差別と偏見のない社会づくりに取り組みます。

きまり遵守

- 社会的な責任を自覚し, より良い社会づくりに取り組みます。
- 社会全体に向け, 社会生活をする上でのきまりを守ることの重要性を知らせます。

(詳細)各ライフステージにおける人づくり【高齢期】

役割

○家庭

- ・長い人生から得られた経験や知恵などを若い家族に伝えることを通して、家庭のかけがえのない存在である認識をもつことができるようにします。
- ・身体的な衰えや親しい人との死別など身体的・精神的な負荷に対する支援をするため、家族との温かな人間関係のもと、自分の人生などに前向きな姿勢がもてるように努めます。

○学校

- ・高齢者の自己実現や職業能力開発を支援するため、知識や技術を習得できるリカレント教育などの充実に努めます。

○地域等

- ・体力の維持増進のために、様々な健康づくりやスポーツ・レクリエーション活動の機会の確保に努めます。
- ・長い人生から得た経験や知恵を生かした様々な人々との交流やボランティア活動により、社会的な自己存在感を獲得したり、様々な世代との活発な交流ができるように努めます。

○企業等

- ・働く意欲のある高齢者を積極的に雇用し、高齢者が社会貢献する機会の確保に努めます。

○行政

- ・奉仕活動や生涯学習の講師など各種行事などの指導者として、高齢者の優れた英知を生かす場を確保し、高齢者が生きがいをもてる仕組みを構築します。

課題

- 独居老人が増加, 社会とのつながりの希薄化が懸念
- 老後, ボランティアなどの社会参加に関する活動は少ない傾向

